

応募用紙「土木広報大賞 2023」

団体名：舟遊びみづは（株式会社フローティングライフ）			
<input checked="" type="checkbox"/> イベント部門	<input type="checkbox"/> 映像・メディア部門	<input type="checkbox"/> 広報ツール・アイテム部門	
<input type="checkbox"/> 教育・教材部門	<input type="checkbox"/> 商業広告部門	<input type="checkbox"/> 企画部門	

土木広報活動または作品名：土木技術者が知的好奇心をくすぐる！土木の役割や歴史に迫る舟遊び

【広報活動または作品の概要】



舟遊びみづはは、定員 12 人の小舟で、東京の川や運河を巡り、水上の視点から江戸から東京への都市の成立ちを知り、歴史的に重要で、デザインに優れた橋を愛でたりする舟遊びを実施している。舟遊びでは橋梁、水門、堤防、高速道路等、様々なインフラに出会う機会がある。それらが造られた歴史的背景、土木建築物の構造や材質、保守の方法、そしてその構造物の使命や価値を土木の専門家に解説してもらい、観光ガイドによる豆知識的なものより

も更に深く踏み込んだ内容を提供する事で、自らの暮らしと土木技術の繋がりを感じてほしい、と土木系舟遊びを 2018 年から毎年開催している。橋の裏側や水門の真下など、船でないと見られない視点からインフラを眺め、土木建築物の役割、地盤等周辺環境を考慮した設計の方法、水害や地震への備えなどを、土木工学的知識のない一般の人々が楽しく学ぶ、大人の知的好奇心を刺激する新たな土木エンターテインメントとなっている。また、土木を支える方々に出会う機会の少ない参加者が、舟遊びを通じて土木技術者の考え方的一端に触れ、土木への親しみを覚える一助となると同時に、土木技術者の方々の新たな活躍の場ともなっている。コロナ禍では、感染拡大期は定員減員、船室不使用・屋外デッキ利用・消毒徹底で実施した。

=2021 年 4 月 1 日～2023 年 9 月 30 日に実施した土木系舟遊び (1 回 120 分) () 内は講師名=

2021.10.23 文化財修復の専門家に聞く、よみがえる常磐橋舟遊び (デザインフォーヘリテージ 西村祐人氏) 修復が完了した石橋の修復方針や、重要な史跡の橋を未来に遺す為に使われた様々な土木技術を学んだ。

2021.11.6, 7 橋梁エンジニアと行く、橋の技術史舟遊び (インフララボ 松永昭吾氏) 時代の変遷と共に発展する橋梁の施工技術や維持管理技術を、復興橋梁を多く含む日本橋川・神田川・隅田川で学んだ。

2022.10.2 文化財修復の専門家と行く、よみがえった常磐橋舟遊び (デザインフォーヘリテージ 西村祐人氏) 2021 年と内容は同じ。好評につき、翌年同じ企画を実施したもの。

2022.10.29 コンクリート博士と水上から学ぶ、コンクリートってなに？舟遊び (横浜国大 細田暁氏) 大正時代～現代迄の様々なコンクリート構造物が見られる日本橋川・神田川で、コンクリートの本質、コンクリート構造のインフラと保守の技術を中心に学んだ。

2022.11.12, 13 土木工学博士と行く、復興・運河 100 年の歴史舟遊び - 関東大震災復興 100 年に向けて - (インフララボ 松永昭吾氏) 震災を機に整備された東京港の歴史と運河の関係を、防災の視点から学んだ。

=2023 年 10 月以降の予定=

2023.10.7, 14 土木系鉄ちゃんと行く、東京鉄道舟遊び (大成建設 加藤隆氏)

2023.11.11, 12 土木工学博士と行く、関東大震災復興百年を支えた土木偉人舟遊び (インフララボ 松永昭吾氏)

【広報活動または作品の効果】

・開始以来リピーターが 5 割超え！関西、九州からの参加者も。当初の 2 便設定が今や 5 便設定に！

1便毎の定員は10名で、1回あたり動員数は少ないが、人気イベントに育ち、イベントに合わせた貸切便も出るほどに。継続的な実施により、東京のインフラ史や技術への、参加者の好奇心を深掘り中である。

・船は徒歩よりも長距離移動が可能！歩かなくてよいので、高齢者や軽度障害者も参加しやすい！

1回で沢山の土木インフラに触れることが出来る。足に不安のある人も参加可能で学びの裾野が広がる。

・少人数でアットホームな雰囲気！質問しやすく双方向コミュニケーションができて、学びが深まる！

講師の土木技術者を、より身近に感じられ、技術者の持つ広範で深い知識・経験への敬意が参加者の間に醸成され、土木技術者のイメージ向上にも寄与している。

・参加費が高めでも、価値があればお金を払ってくれる！⇒技術者の地位向上

公共団体や自治体実施の土木イベントは無料や安価なものが多いが、舟遊びの参加費は1人6,000円台～7,000円台後半。少人数イベントの為、民間企業として、講師に報酬をきちんと支払いつつ、採算を成り立たせる為の価格設定であるが、土木技術者から学ぶ価値が参加費に見合っている為か、すぐに満席に。

・波及効果1：橋を見る目が変わった！

素人が見ても何かわからないもの、例えば橋の落下防止装置により、道路だけでなく水や電気も渡している橋が災害から守られている事など、専門家による解説で初めて参加者の目が橋に対して広く深く開かれ、地道で継続的なインフラの維持管理・更新・耐震補強への関心と感謝の心が参加者の間に生まれた。

・波及効果2：講師がラジオに出演することに！

土木系舟遊び実施がきっかけで、中央区のコミュニティFM「中央FM」の番組に講師が呼ばれた。舟遊び参加者からラジオリスナーへと対象が広がり、土木広報の相乗効果が生まれた。

・波及効果3：船を使った橋梁ツアーのノウハウが横浜に拡散！

土木系舟遊び参加者が、横浜でも同講師の解説付きイベントを企画し、横浜の運河・インフラの歴史や、災害対策等の土木広報に繋がった。

・波及効果4：水辺の環境保全や下水道整備の重要性への関心が高まる！

河川を船で巡ると、水の透明度や臭いの少なさを直接感じると同時に、魚が跳ね、それを獲る水鳥等の生物や、流れるゴミが至近で見える為、水質の改善状況や自然保護を、五感を使って参加者が認識できる。

・波及効果5：「東京人」対談場所に船と東京の川が選ばれる！土木広報の場に船は適している？

舟遊び講師を含む土木伝道師達の対談が、土木の力を感じられる東京の河川を船で巡る形で実施された。

◆橋の技術史、復興・運河100年の歴史舟遊び 松永昭吾氏 ◆よみがえった常磐橋舟遊び 西村祐人氏



◆コンクリートってなに？舟遊び 細田暁氏



※イベント報告 Facebook ページ

(URL が長いので、短縮 URL で表示)

2021.11.6, 7 <https://qr.paps.jp/PoGeU>

2022.10.2 <https://qr.paps.jp/EvhsG>

2022.10.29 <https://qr.paps.jp/Xdn>

2022.11.12, 13 <https://qr.paps.jp/71xA8>

※舟遊び参加者の NOTE <https://note.com/chatareau/n/n5c0ef0385aa4>

参加者の Facebook 投稿 <https://onl.tw/8GPQ6Z7> (短縮 URL)